

Monthly Report

Vol.37 広報室

平成21年6月29日発行

目次:

学生2名ラスベガスへ	1
伊東昭義教育巡回写真展開催中	2
学都仙台コンソーシアム学生が広報スタッフに	4
新体操マカロアさん 岩瀬研究員	5
サッカー元日本代表 来訪	6
JFA・Jリーグ特別指 定選手に	7
学生の活躍等	8
仙台大学オリジナル グッズ販売中	10

学生の活躍や、取組みをご存知でしたら広報室までお寄せください。Monthly Reportで紹介する他、報道機関にも旬な話題を提供していきたいと考えております。

また、本誌へのご意見・ご質問等がございましたら、広報室までご一報ください。

広報室

直通 0224-55-1802
内線 佐藤美保 256
土生佐多 200
伊東宏之 271
Email:kouhou@scn.ac.jp

学生2名が日本代表として、米国で開催される運動能力テストに出場



7月9日から11日に、NSCA（全米ストレングス&コンディショニング協会）のナショナルカンファレンスが米国ラスベガスで開催され、期間中に行われる運動能力テストに本学内での選考を勝ち抜いた細川優樹、高山安奈（共に体育学科2年）が日本代表として出場する事が決定しました。

NSCAとはトレーナー資格「CSCS資格」、「NSCA-CPT資格」を有する団体です。運動能力テストはNSCAのもつFly Solo（高校生以下をトレーニングしているコーチを対象とした教育プログラム）が主催して昨年からはじめました。今年もアメリカ・カナダ・イギリス・アイルランドが出場を予定しています。昨年も学内選考を勝ち抜いた学生2名が日本代表として出場し、男子は2位、女子は4位という結果でした。今年出場する2名はそれぞれバレーボール部、バスケットボール部に所属しており、運動能力が非常に高いため優勝の期待も持てます。現在、大会に向けてNSCA資格を有する加賀新助手の元で週に2、3度練習に取り組んでいます。

細川さんは半年前から持ち前の跳躍力を生かしたジャンプに自信を持っており、他国の予選と比較するとトータルの記録が世界でトップ「選ばれたからには世界一をとる」と意気込んでいます。

高山さんは将来CSCSの資格取得を目指しており、今回のカンファレンスに出席すること自体、たいへん楽しみにしているそうです。

壮行会は7月1日に第3体育館1Fトレーニングセンターで行なわれます。

昨年の様子（NSCAホームページ）

<http://www.nasca-lift.org/Fly%20Solo%20Program/Int.ppt>

NSCAホームページ

<http://www.nasca-lift.org/Fly%20Solo%20Program/intlchamp.shtml>

伊東昭義クリエイティブ・フォト・アート教育巡回展」開催中



6月11日(木)～8月31日(金)の日程で「伊東昭義クリエイティブ・フォト・アート教育巡回展」を本学25記念館1F特設会場において開催しています。

伊東昭義氏は日本大学芸術学部美術学科を卒業後、美術家として多彩な彫刻・写真を発表されている方で、世界最大級の美術館である米国『スミソニアン』での個展を始め、国内での財団・公立の美術館・ギャラリーでの個展ができる数少ない

作家の一人です。

また、伊東氏は教育家としても活躍されており、所長を務める幼児体育研究所には、学生の就職先として毎年採用いただくなどお世話になっており、現在も60名近くの卒業生が在籍しています。

今月末からは一般開放も行います。是非一度ご覧ください。

伊東昭義氏の活動詳細については以下のホームページをご覧ください。

<http://ito-art.com/index.html>

企画名 伊東昭義クリエイティブ・フォト・アート教育巡回展
場 所 25記念館1F特設会場
時 間 7時半～20時半
主 催 仙台大学、伊東昭義クリエイティブアート展示実行委員会
入場料 無 料

国際貢献事業＜JICAを通しての物品提供活動＞



JICAの主催する「世界の笑顔のために」への物品提供は、今年で3年目を迎え、本学で送ったものが世界各国で利用されて喜ばれています。

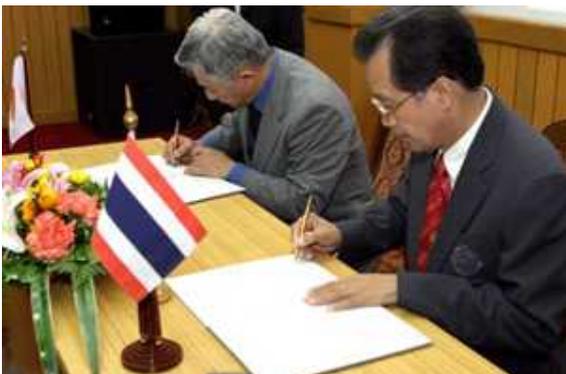
5月22日まで行っていた物品提供には、バレーボールやサッカーボール、バドミントンの

シャトルなどが集まり、ダンボール6箱を今月初旬にJICAに送りました。荷物はJICAから発展途上国に振り分けられます。

今回の事業では初めて、学外のバレーボールチームからユニホームが寄せられました。

この取組みは、河北新報・毎日新聞・朝日新聞やDate fm(株式会社エフエム仙台)でも紹介され、記事を読んだ中学校の先生から、教育実習に行った学生を通じて「不要のバレーボールを提供したい」との申し出があるなど、本学の国際貢献の取組みとして認知され、また、スポーツに携わる方々の関心の深さが伺えます。

国際交流提携校:シーナカリンウィロート大学HPに本学掲載



シーナカリンウィロート大学(タイ)のホームページに本学との提携について記載されており、平成21年1月7日の調印式で撮影した写真が掲載されています。

<http://www.swu.ac.th/en/>

高橋弘彦教授より情報提供

包丁支給・調理技術講習会



5月29日(金)に運動栄養学科1年生に個人の名前が彫られた包丁を手渡す、「包丁支給」がD201教室で実施されました。これは、運動栄養学科開設当初から行なわれている伝統ある行事で、包丁の取り扱いに責任感を持たせることに目的を置いています。

宮城学科長から「管理を怠ると錆びてしまう包丁を大事に扱うこと」と、「包丁を保管するロッカーへの施錠徹底」について指導があった後、学生一人ひとりに手渡されました。包丁を受け取っ

た学生たちは早速に自分の名前が彫られているか確認を行い、気を引き締めている様子でした。

6月12、19日には『亀縞の郷 今昔庵(岩沼市)』の斎藤勝氏を講師に招いて「調理技術講習会」を開催し、運動栄養学科Bクラスの学生が調理に携わる者としての心構えや、包丁の研ぎ方・切り方などを学びました。Aクラスの調理技術講習会は6月26日と7月3日に予定されています。

平成21年度仙台大学保護者会役員会



6月13日(土)に仙台ガーデンパレスにおいて、平成21年度仙台大学保護者会役員会が開催され、鈴木和明会長はじめ保護者会役員19名と、本学関係教職員19名が出席しました。鈴木会長と朴澤学長の挨拶の後、平成20年度の事業報告・決算報告、平成21年度の事業計画・予算並びに役員選出についての報告・審議がなされ、前議案と

も原案どおりに承認されました。

その後、今回で退任する鈴木会長はじめ役員に対して感謝の意を込め記念品が贈られました。

なお、新会長には糟谷昌彦氏が就任しました。

学都仙台コンソーシアム学生広報サポートスタッフ活動開始



6月9日（火）仙台市市民活動サポートセンターにおいて、先月のMonthly Reportでご紹介しました「学都仙台コンソーシアム広報サポートスタッフ」の初めての会議が開催されました。本学からはスタッフとして選ばれた、スポーツ情報マスメディア学科2年生、高橋悠（ゆう）さんと高橋花奈（かな）さんが揃って出席し、フレンドリーな雰囲気の中他大学のメンバーと交流を深めましたのでご紹介致します。

スタッフは全員で11名、東北大学をはじめ6大学及び宮城工業専門学校で構成され、学年・専攻もバラエティに富んでいるそうです。簡単な自己紹介の後、まず手始めとして、学都仙台コンソーシアムHPにある「学生のページ」を充実させ、できれば7月中に各大学のオープンキャンパス情報を掲載することなどを目標に会議が進められました。ダブル高橋さんは「今、まさに授業で習っている、会議を効率良くいかに戦略的に進行するか？」などが実践的に役立つことを実感でき、とてもやりがいがあります。メンバーには学生でありながら起業している方もいて、ますます興味がわきました。」と張り切っています。

会議は来年2月までの任期中、基本的には毎週1回のペースで開かれ、母校心溢れる学生達により、さまざまなアイデアが活発に討論されそうです。

全国体育系大学学長・学部長会が開催

～ 体育系大学のさらなる連携と模索～



5月28日（木）九州共立大学を幹事校とした「H21年度全国体育系大学学長・学部長会」が、ホテル日航福岡で開催されました。会議の中で朴澤学長が、文部科学省戦略

的・大学間連携事業補助への申請の可能性に関するアンケート結果、および健康運動指導士養成校の合格率状況についてご報告なされ、その後、橋本学科長による、体育系大学として初めて採択された本学の現代GPの取り組みに関し、ご講演がありました。

「全国体育系大学学長・学部長会」は、現在本学を含む23大学が加盟し、1年に1度、持ち回りで総会を開いています。約50名の出席者を前に朴澤学長は「大学間連携については、加盟大学全体としての取組みではなく、複数の大学間の個別の連携に前向きな意向を持つ大学が存在しており、今後に向けて更なる検討が期待されること。健康運動指導士養成に関しては、財団講習会受講者の合格率より下回っている状況があり、改善を要請されている。」と報告なさいました。

続いて橋本学科長より、現代GP申請のポイントと現在までの進捗状況について、DVDを用い講演がなされました。参加者からは、学生に部活動と両立させる工夫など、体育系大学ならではの共通した悩みが質問され、活発な意見交換の場となりました。

懇親会の席では鹿屋体育大学の福永学長が「脳を鍛えるには運動しかない」という本を紹介しつつ、「運動によるさまざまな効果が科学的に証明され、学習効果の向上、アンチエイジング、生活習慣病予防など、体育系大学がこれほど必要とされている時代はなく、大学間で協力しアピールしよう」とご挨拶なさいました。

健康づくりに関心が高い今こそ、健康教育や運動の重要性をさらに体育系大学から発信すべき時がきているという視点で、仙台大学が担う大きな使命はまさしくこのことにあると言えるでしょう。（記事提供：橋本学科長）



新体操指導者マカロワさんに近況を聞きました

日本に来て半年が経ちましたが、異国での生活には慣れましたか？

仙台大学に来たばかりの頃に比べるとだいぶ慣れ、特に不自由に感じていることはありません。仙台市にも電車に乗って一人で出かけるし、近所のスーパーに行っても、どこに何が陳列しているか把握しているし、日本食も美味しいので問題ないです。ただ、納豆だけは駄目です。



全国大会に帯同して東京に行かれたと聞きましたが、日本の学生のレベルはどうでしたか？

審判の目線で得点をつけながら観ていましたが、世界と比較してもたいへんレベルの高いものと感じました。特に優勝・準優勝に輝いたチームは素晴らしく、難易度の高い技、スピード、安定感に優れていました。1点だけ日本がもったいないことをしていると感じたことは、日本の団体優勝チームがそのまま世界大会に出場すること。ベラルーシでは優勝チームだけでなく、他のチームからも優秀な選手を集めて新チームを構成して世界大会に出場しています。必然とレベルはベラルーシ式の方が高くなります。

日本語は覚えましたか？

4月から仙台にある日本語学校に週2度通って勉強しています。使う機会がないので、教えてもらった言葉もなかなか身に付かず、挨拶と新体操に関する言葉以外はまだまだです。興味がある新体操の言葉は使う機会も多いので覚えるのも早く、新体操に関する言葉はある程度覚えました。子供達も私に慣れ、コミュニケーションが取れるようになったので現在はほとんど通訳なしで指導しています。子供たちに学校で起こった出来事など、新体操以外の話をされると意味不明ですが。

東京に行って、住みたいと思いましたか？

東京は何でも揃う魅力的な街ですが、狭い範囲に人口が密集していて息苦しいので、住むのは柴田町がちょうど良いです。

五輪招致プレゼンVTRにスポーツ情報マスメディア研究所の岩瀬裕子専任研究員が出演

今月17、18日にスイスのローザンヌで2016年の夏季五輪招致を目指す東京など立候補4都市による、オリンピック・パラリンピック招致プレゼンテーションが行われました。

この席で、東京が使用したCITY編ビデオにスポーツ情報マスメディア研究所の岩瀬専任研究員が土田和歌子氏(陸上競技パラリンピアン)、滝川クリステル氏(フジテレビアナウンサー)、森理世氏(2007ミスユニバース)と出演しています。

この映像の一部は6月22日の日本テレビNEWS ZEROでも紹介され、今後もメディアでの露出が予想されます。

東京オリンピック・パラリンピック招致委員会のホームページでも観ることができますのでご覧下さい。

なお、この映像はマスコミにも配られ、配布資料の中には、仙台大学スポーツ情報マスメディア研究所の名も記されています。

<http://www.tokyo2016.or.jp/jp/movies/>



第二図書館を是非ご利用下さい



元GTセンター施設が今年度から第二図書館となり、歴代の学長やキーナート副学長(特命事項担当)から寄贈いただいた専門書、本学と協定関係にある海外の大学などから頂戴した貴重な品々が配架されています。どれも貴重な品々ですが、平日の数時間(下記に記載)開館しておりますので是非足をお運びください。なお、付属図書館事務室にお声がけ頂ければ就業時間内はいつでも開館します。

月曜日 10:00 ~ 12:30 、 13:30 ~ 15:00
火曜日 10:00 ~ 11:30
水曜日 13:00 ~ 15:00
木曜日 10:00 ~ 11:30
金曜日 10:00 ~ 12:30

元サッカー日本代表の渡辺由一さん



5月23日(土)に、本学第7回生(昭和51年度卒)で、元サッカー日本代表の渡辺由一よしいち氏が来学し、当時の貴重な日本代表のユニフォームを大学に寄贈下さいました。

渡辺さんは本学入学後フォワードからミッドフィルダーに転身、チームの中心選手として活躍され、大学2、3年次の76年と77年には2年連続でインカレ出場を果たし、本学サッカー部を東北地区大学サッカー界でトップチームへと導く礎を築られました。4年次には

全日本大学選抜にも選出されウルグアイでの世界大会にも出場されております。

卒業後当時の日本リーグの名門東洋工業サッカー部(現サンフレッチェ広島の前身)に進み、1979年に全日本に召集されています。その後1年半にわたり日本代表として活躍。ソウルでの日韓定期戦をはじめ国際Aマッチ出場6試合(1得点)の他、ジャパンカップ(現キリンカップ)出場など、計12試合で日本代表として出場されました。

今年3月にはサッカー部の1期生から10期生までのメンバーで構成するOB会を発足させ交流を深めているそうです。そのOB会でチームを結成し、夏には本学女子サッカー部との練習試合を行う計画です。また来年には在仙のリーグ戦に参加する方向で各方面と調整中とのことでした。

ベガルタ仙台ジュニアサッカースクール仙南校に 元日本代表の岩本輝雄さんが来訪



6月15日(月)、本学サッカー・ラグビー場で開校しているベガルタ仙台ジュニアサッカースクール仙南校(以下:仙南校)の特別コーチとして、元日本代表の岩本輝雄氏が来訪しました。

この教室はベガルタ仙台と本学が提携して平成15年4月にスタートし、幼稚園年長から小



学校6年生までを対象にして毎週月曜日に開校しており、普段はベガルタ仙台から専属コーチ1名と、本学サッカー部コーチの草野新助手(元Jリーガー)が指導しており、サッカー部の学生も補助をしています。

キックの指導では、現役時代を彷彿とさせる迫力ある岩本氏のフリーキックに、子供たちの歓声が沸き起こっていました。岩本氏とのミニゲームもあり、自分のパスをシュートしてもらおうと、我先にと岩本氏にパスする子供達の姿がありました。憧れの選手を前にして子供たちにとっては夢のような時間となったようです。



岩本輝雄氏
(愛称:テル)

1992年 JFL1部のフジタSC(=ベルマーレ平塚=現ベルマーレ湘南)に入団
1994年 Jリーグに昇格
1994年 天皇杯優勝
1994年 日本代表に選出
2001年 ベガルタ仙台に移籍
2004年 名古屋グランパスエイトに移籍するも怪我の影響で同年退団
2006年 オークランドシティFC(ニュージ-ランド)と契約・同年現役引退

奥埜博亮さん(体育学科2年)が(財)日本サッカー協会・Jリーグ特別指定選手に



おくのひろあき
奥埜博亮さん(体育学科2年)が大学などに所属したままJリーグの試合に出場できる「JFA・Jリーグ特別指定選手」の指定を受け、J2ベガルタ仙台に加入しました。
奥埜さんは明成高校・ベガルタ仙台ユース出身。中学から日本選抜チームでプレーし、2002年のU-13日本選抜、2005年のU-16日本代表などに出場しています。大学入学後もその活躍は目覚しく、昨年の東北地区大学サッ

カーリーグでは1年生ながら得点王に輝き、今年3月開催のデンソーカップ(地域選抜大会)では北海道・東北選抜チームとして出場し、大会優秀選手に選ばれています。

ユースまでお世話になったベガルタ仙台での活躍が期待されます。

ベガルタ仙台ホームページ

http://www.vegalta.co.jp/contents/news/press_release/2009/05/jfaj-1.html

斉藤大輔さん(体育学科4年)が三段跳びで全国大会初優勝



6月12・14日に神奈川県平塚市で開催された「2009日本学生陸上競技個人選手権大会」において、男子三段跳びの斉藤大輔さん(体育学科4年)が15m93で初優勝しました。斉藤は岩手県立黒沢尻工業高校出身。高校では14m56で東北大会2位となりインターハイと国体の出場経験を持ちます。しかし、大学では全国大会出場すら叶わず、最終学年でようやく全国の場を踏みました。「全国大会に出場できただけで嬉しかった」と話す斉藤は、この大舞台で自己記録を76cmも更新し、全国大会初出場・初優勝の偉業を成し遂げました。9月の全日本インカレに向けて遅咲きの新星が誕生しました。

女子ハンマー投げでは佐藤若菜さん(体育学科4年)が53m34で第2位となりました。



6月16日(火)には朴澤学長に大会結果報告。翌週にはA棟に垂れ幕が掲げられました。

漕艇部の西村光生さん(体育学科2年)がU23日本代表選手に

～本学からは7年連続の代表輩出～



漕艇部の西村光生(体育学科2年)がU23日本代表に選考され、7月にチェコで開催されるU23世界選手権へ舵手なしフォアのメンバーとして出場します。

西村選手は愛媛県宇和島水産高校出身。昨年、一昨年には世界ジュニア選手権大会に日本代表を経験。今大会で3度目の国際大会出場となります。

本学漕艇部からの日本代表選手輩出は平成15年以来7年連続になります。

ボート全日本軽量級選手権大会/2種目で第2位
5月23、24日に埼玉県戸田市で開催されたボートの全日本軽量級選手権大会において、男子舵手なしフォアと女子舵手つきクォドルブルの2種目で第2位となりました。

男女とも優勝こそ逃しましたが、高いレベルのレースで素晴らしいパフォーマンスを示してくれました。8月に開催されるインカレでの活躍が期待されます。

今大会には本学卒業生も多数出場。特に男子エイトでは今年卒業した渡邊勝裕選手、三浦友之選手(共にNTT東日本東京)が優勝。野崎鷹昭選手(トヨタ紡織)が準優勝を勝ち取りました。

鈴木保之香さんが仙台89ERSチアーズオーディションに合格



鈴木保之香さん(体育学科1年)が男子プロバスケットボールチーム「仙台89ERS」を応援するチアリーディングチーム「89ERSチアーズ」のトップメンバーに合格しました。

フロアで踊る事が好きと話す鈴木さんは、バトントワリングの指導者である母親の影響でバトントワリングを始め、小学生時代には全日本バトントワリング選手権全国大会出場、中学生時代は東北大会個人4位など輝かしい成績もおさめています。

2つ下の妹が「89ERSチアーズ」のレッスン生であった事から、チアリーダーに興味を持つ

ようになったそうです。ブースター(観客)との距離が近く、観客と一体となって応援する「89ERSチアーズ」の魅力に感激して今回のオーディション応募に至ったそうです。

「89ERSチアーズ」では試合ごとに出演するメンバーを選出するというので、「やるからには全試合で踊れるように全力で頑張りたい」と力強く話してくれました。

今後は、10月の開幕に向けて週2日のダンスレッスンと、仙台七夕まつりなどの催しや幼稚園に訪問しての広報活動を行なうそうです。なお、今年は初めてbjリーグのオールスターゲームが宮城県内で開催され、注目度が高まる事が予想されており、鈴木さんの笑顔でのパフォーマンスが楽しみです。

NHKがバンクーバー五輪を目指す小室 希さんを紹介



スケルトンでバンクーバーオリンピック出場を目指している小室希さん(院2年)にNHKの取材が入り、6月19日のNHK仙台放送夕方のニュース番組「てれまさむね」で紹介されました。

現在、取り組んでいるトレーニングが紹介され、予測・判断といったスポーツに関連した認知機能を高めるために東北大学の川島隆太教授が開発した「ワーキングメモリートレーニング」や、コース取りに必要な空中認識力(自分が今どこを滑っているかを把握する力)を高めるために、小西准教授・鈴木新助手・濱田新助手の指導の下で実施しているランポリントレーニングが紹介されました。

NHKによる小室さんの取材は昨年から継続的に入っており、宮城県内の放映に留まらず、6月29日にはNHK総合(全国版)での放送も予定されています。

番組名 : 「ニュースウォッチ9」21:00～22:00
「ニュース&スポーツ」23:30～0:10

硬式野球部員6名が仙台六大学野球連盟選抜メンバーとして ハワイ国際野球選手権に出場



国際親善を目的として太平洋地域大学野球協会が主催する「ハワイ国際野球選手権大会」が8月6日～9日の日程でハワイ州立大学マノア校を会場に開催さ

れます。今年の大会には本学硬式野球部が所属する仙台六大学野球連盟に対して出場要請があり、選手21名の派遣が決定しました。本学からも6名がメンバーに選出され、森本監督もコーチとしてチームを牽引します。

なお、同大学で同時期に実施されるアスレティックトレーニング スクーリング アドバンスドコースへの参加を兼ね、本学からトレーナーとして度会稔助教が、学生トレーナーとして体育学科3年の佐竹彬（あきら）さん・村上拓矢さんがそれぞれチームに帯同する事になりました。

慣れない海外の地における、国際試合でのトレー

ナーの存在は一段と大きく仙台六大学野球連盟からもメンバーの参加が喜ばれています。ハワイでの選手達の活躍のみならず、プレーヤーの信頼を受け彼らを心身共にサポートするトレーナーの頑張りを心から応援しましょう。

出場選手

大森 淳希 (体育学科4年・投手)
安田 尚造 (体育学科4年・内野手)
田上 紳二郎 (体育学科4年・外野手)
矢島 健吾 (体育学科3年・内野手)
高島 光鉦 (体育学科2年・外野手)
佐藤 良 (体育学科2年・外野手)

仙台六大学野球連盟ホームページ

<http://www.sen6.jp/>

仙台大学硬式野球部ホームページ

http://homepage2.nifty.com/scpe_bbc/

レクリエーション部の学外での活動紹介



6月12日の教室は、「落下傘を自分達で作って遊ぶ」をテーマに開催されました。こども達の学生たちに我先にと近寄って教えを請う姿、そして仲良く交流する姿がみられました。学生たちも打ち解けているようで、基本は楽しく、叱るべきところをわきまえつつ、子供達ときちんと向き合う姿が印象的でした。

主催している同センターの石上幸弘さんは本学OB(12回生)で、「学生生活で子供たちと触れ合える機会は少ないので、「こども広場」を後輩である学生たちの学習の場にしてもらえればと思います。昨年からは依頼し指導・支援にきてもらっています。子供たちも学生に馴染んでいます」と話されていました。

レクリエーション部は年間で約180件の依頼に応えており、5月26～29日に大郷町が主催した蔵王自然の家での宿泊体験活動「まちはひとつの学校だ」事業にも学生7名が補助として参加するなど活躍の場を広げ、大郷町教育委員会からも感謝の手紙が届いています。

昨年に引き続き「船迫生涯学習センター」からの依頼を受け、レクリエーション部が6月～3月までの毎週金曜日に同センターが主催する「こどもの広場」に派遣されています。

この教室では、児童クラブに登録していない船迫小学区の小学生20人を対象に、安全で楽しい子どもたちの活動場所を設け、主に集団遊びを指導・支援します。

同センターとレクリエーション部が隔週で進行役と補助役を交代しながら進められ、毎回学生3名程が参加しています。レク部主将の武者庄一(体育学科4年)さんは「自分達で考えた新しいレクリエーションを試みたりして楽しく活動しています。子供たちと触れ合うことが楽しいです」と話しています。



仙台大学オリジナルグッズ販売中

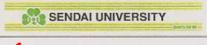
今年度の入学式でも販売した、仙台大学オリジナルグッズ「新商品」を紹介します。

新商品 : エコバック、バックパック、保温タンブラー、キャップ(5色)、ポロシャツ、名刺・定期入れ、マフラータオル、ブックメーカー、スパッツ

既存のグッズも含め、学生支援センターおよび学内売店(駐輪場1F、タカトモスポーツ)で販売中です。是非、お買い求め頂きご活用下さい。

平成21年4月現在

<p>No.1 消しゴム付 鉛筆セット(6本セット) (仙台大学ロゴ入り)</p>  <p>税込み ¥320.-</p>	<p>No.2 ビンパッチ (40周年マーク入り)</p>  <p>税込み ¥400.-</p>
<p>No.3 タイタック (学章)</p>  <p>税込み ¥800.-</p>	<p>No.4 キーホルダー (仙台大学ロゴ入り)</p>  <p>税込み ¥500.-</p>
<p>No.5 キーホルダー (40周年マーク入り)</p>  <p>税込み ¥500.-</p>	<p>No.6 クリアファイル (仙台大学ロゴ入り)</p>  <p>税込み ¥150.-</p>
<p>No.7 ネックストラップ (仙台大学ロゴ入り)</p>  <p>税込み ¥350.-</p>	<p>No.8 ステッカー (40周年マーク入り)</p>  <p>税込み 各 ¥150.-</p>
<p>No.9 ステッカー (学章)</p>  <p>税込み ¥120.-</p>	<p>No.10 ステッカー (大学名入り)</p>  <p>税込み ¥70.-</p>

<p>No.11 バインダー(色透明) (仙台大学ロゴ入り)</p>  <p>A4サイズ 30穴</p> <p>税込み ¥500.-</p>	<p>No.12 バインダー(色透明) (仙台大学ロゴ入り)</p>  <p>B5サイズ 26穴</p> <p>税込み ¥500.-</p>
<p>No.13 ポロシャツ (白地・仙台大学ロゴ入り) S/M/L/LL</p>  <p>メーカー：クレマージュ 後は無地</p> <p>※表 ポリエステル100% 裏 綿50% ポリエステル50%</p> <p>税込み ¥2,500.-</p>	<p>No.14 ポロシャツ (紺地・仙台大学ロゴ入り) S/M/L/LL</p>  <p>メーカー：クレマージュ 後は無地</p> <p>※表 ポリエステル100% 裏 綿50% ポリエステル50%</p> <p>税込み ¥2,500.-</p>
<p>No.15 ポロシャツ (黒地・仙台大学ロゴ入り) S/M/L/LL</p>  <p>メーカー：クレマージュ 後は無地</p> <p>※表 ポリエステル100% 裏 綿50% ポリエステル50%</p> <p>税込み ¥2,500.-</p>	<p>No.16 トレーナー (白地・仙台大学ロゴ入り) M/L/LL</p>  <p>メーカー：クレマージュ 後は無し</p> <p>※ ポリエステル100%</p> <p>税込み ¥3,500.-</p>
<p>No.17 トレーナー (白地・40周年マーク入り) M/L/LL</p>  <p>メーカー：クレマージュ 後は無し</p> <p>※ ポリエステル100%</p> <p>税込み ¥3,500.-</p>	<p>No.18 スポーツタオル(白地・仙台大学ロゴ入り)</p>  <p>110cm 40cm</p> <p>税込み ¥800.-</p>
<p>No.19 バスタオル (白地・仙台大学ロゴ入り)</p>  <p>132cm 68cm</p> <p>税込み ¥1,000.-</p>	<p>No.20 マフラータオル(白地・仙台大学ロゴ入り)</p>  <p>110cm 20cm</p> <p>税込み ¥700.-</p>

<p>No.21 グリーン地 レジメンタル ネクタイ 学章入り (シルク100% 140×9cm)</p>  <p>税込み ¥4,000.-</p>	<p>No.22 紺地 ドット柄 ネクタイ 学章入り (シルク100% 140×9cm)</p>  <p>税込み ¥4,000.-</p>
<p>No.23 保温タンブラー シルバー地</p>  <p>直径73mm×高さ141mm</p> <p>税込み ¥900.-</p>	<p>No.24 バックパック (ナップザック) 黒</p>  <p>税込み ¥700.-</p>
<p>No.25 フックマーク(マグネットつき) 3個組</p>  <p>1個 ヨコ3cm×タテ6cm</p> <p>税込み ¥800.-</p>	<p>No.26 フックマーク(マグネットつき) 1個バラ</p>  <p>1個 ヨコ3cm×タテ6cm</p> <p>税込み ¥300.-</p>
<p>No.27 モッタイナイ エコバック M</p>  <p>グリーン・オレンジ/ブルー・ブラック ポリエステル100 W300×H510×D120</p> <p>税込み ¥400.-</p>	<p>No.28 モッタイナイ エコバック L</p>  <p>W350×H550×D120 ページュ・ネイビー</p> <p>税込み ¥550.-</p>
<p>No.29 牛革 定期・名刺入れ「ハル ミラノ」</p>  <p>黒・茶・赤 ピンク・黄 グリーン</p> <p>大学ロゴ 刻印</p> <p>税込み ¥2,800.-</p>	<p>No.30 メッシュ キャップ</p>  <p>ページュ 紺 赤 黒 白</p> <p>帽子職 大学ロゴ 名入れ</p> <p>税込み ¥1,800.-</p>

No.31 仙台大学オリジナルスパッツ (仙台大学における実証で検証されたスパッツ
高橋弘彦教授)
「運動負荷はトレッドミルにて時速5kmで10分間、時速6.5kmで50分間、合計60分間行いました。実験の詳細は『日本体育学会50周年大会』にて発表していますが、このスパッツの着用は、運動時の疲労を軽減することが検証されています。」



実際の実験風景
(目標3階入環境計測制御室)
GANBAX製
S/M/L 各10枚限定
70列対応仕様(多くの70列野球選手も愛用)
色: エンジ×白(容易と緑色・ネームデザインが若干異なります)

税込み ¥6,500.-

No.32 仙台大学40周年記念オリジナルパッケージ「霖の月」2ヶ入りセット



※「扉匠三金」とのタイアップにより、「扉匠三金」JR船岡駅前店のみに販売中!

※事前に電話予約で準備できます。列車の時間に間に合うように、早めの予約が便利。

TEL. 0224-55-5731
(「扉匠三金」JR船岡駅前店)

2ヶ入りセット 税込み ¥315.-

「リスペクト！おかげさまプロジェクト」推進中！

<スポーツ情報マスメディア研究所より>

普段、あまり気にも留めていないところで私たちのスポーツは多くの仲間を支えられています。本学では、社団法人宮城県サッカー協会、株式会社ベガルタ仙台、ベガルタ仙台ホームタウン協議会とともに、「リスペクト！おかげさまプロジェクト」を推進中。まず、スポーツに関わる私たちファミリーに感謝を込めて「ファミリーあいさつ運動」を行います。私たちが自由にスポーツを楽しむことに感謝して、その「おかげさま」の輪を広げていきたい。そんなスポーツ文化を未来に残しませんか？「おはよう」「お疲れさま」「ありがとう」「また明日」学内でも、元気いっぱい笑顔あふれる“あいさつの輪”を広げていきましょう！プロジェクト参加希望の教職員・学生の皆さんはスポーツ情報マスメディア研究所 阿部(篤)・岩瀬まで。



「おかげさま」は、
感謝をあらわす魔法の言葉

普段、あまり気にも留めていないところで私たちのスポーツは多くの仲間を支えられています。私たちが自由にスポーツを楽しむことができることに感謝して、その「おかげさま」の環をひろげていきたい。そんなスポーツ文化を未来に残したいと思いませんか。



リスペクト！私たちは「おかげさまプロジェクト」を推進しています。

社団法人宮城県サッカー協会 株式会社ベガルタ仙台 仙台大学 ベガルタ仙台ホームタウン協議会